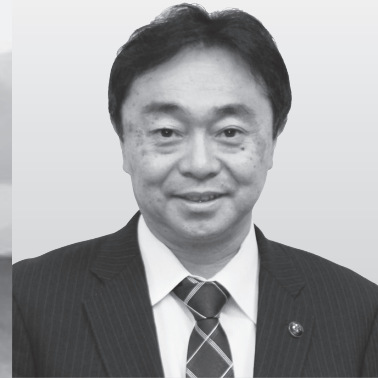




新年のごあいさつ



登別市議会議長
辻 弘之



登別市長
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては希望にあふれる新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、いまだ予断を許さないコロナ禍は3年以上にも及び、特に子どもたちの生活環境に大きな影響を与えてきました。そのような中、多様性ある議会を目指す本市議会では、地元中・高校生や専門学校生の皆様との連携による取り組みを進めています。議会フォーラムへのご参加や、政策提言に向けた意見交換会、学校授業での講話など、さまざまな場面で交流をさせていただいております。これらの活動を通じて、私たち議員は世代を超えた価値観の理解を図り、学生の皆様には、社会や地元とのつながりを感じ取っていただければとの想いを深めております。

いつの時代も、時代の潮流に翻弄されながらも未来を創るのは次世代です。私たち議会は多様な価値観を包摂し、今と次代を紡ぐ存在にならなくてはなりません。

本年も私たち議員一同、誠心誠意皆様に寄り添った活動を続けてまいりますので、皆様におかれましては、市議会に対しまして引き続きさまざまなご意見やご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も幸せに満ちあふれた実り多き年となりますことを心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまが、つつがなく新しい年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

去年は、引き続きコロナ禍を市一丸となって乗り切るべく、市内の関係団体と連携しながら、『湯之国登別満喫キャンペーンのぼりべつ割』などの事業を実施したほか、ワーケーションの推進や地域おこし協力隊の活用などを通じた関係人口の創出・拡大に向けて力を注いでまいりました。

いよいよ本年3月には『登別市観光交流センター ヌプル』がオープンします。ヌプルは、観光をはじめとした産業、文化等の振興を図るとともに、市民と観光客との交流を生み、地域のにぎわいを創出するという大切な役割を担う施設です。

登別観光の玄関口が、より活気あふれる場所となるよう、市民の皆さまにおかれましては、ぜひ何度でも足をお運びいただきますようお願いいたします。

新しい年におきましても、市民の皆さまと手を取り合い、市と関わる全ての人々にとって登別市が魅力的なまちとなるよう、取り組んでまいりますので、市政に対する変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多き年となりますことを心より祈念し、新年のごあいさつといたします。